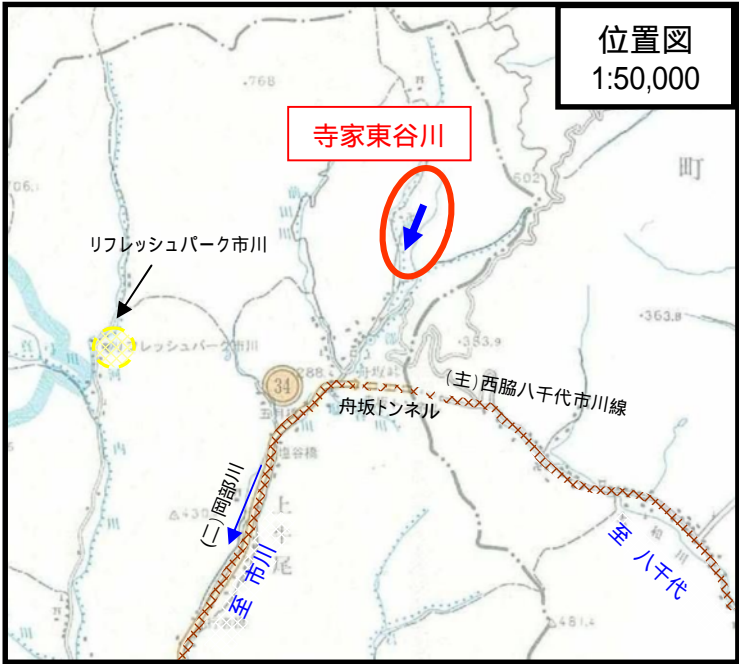


## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本正利 (一宮大祐)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 し け ひ が た に が わ 寺家東谷川	神崎郡市川町 か み う し お 上牛尾	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
神崎郡市川町上牛尾				H24	H26
事業目的			事業内容		
<b>土石流対策</b> 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、土砂災害から人家等を保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 12.0m, L = 60.0m)  [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(二)市川水系岡部川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、多数の転石(0.6~1.2m)も存在しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約4ha(長さ800m、最大幅100m程度)に及ぶ。 ・ <u>人家11戸、公民館(避難所)、町道</u>				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・平成19年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備による土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。				
〔事業執行環境〕	・事業や工事用道路について地元の理解が得られており、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・工事による掘削法面については、緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・保全人家が多く、また避難所となる公民館等の保全を図る必要があることから、早期着手に対する地元要望が強い。  以上より、H24年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

じけひがしたにがわ  
**寺家東谷川**  
 [市川町]



計画概略図  
 縮尺 1:8,000

